

別添3 いけんぷらすワークショップ A班ワーク2メモ

【A班メンバー】

5名（ヤンプラ知っている9人、使ったことある5人）

【A班の意見の特徴】

階が上になるごとに利用年齢層が上がる。（階に応じた特色出し）。
全体的に壁が極力無い方が良い（壁に囲まれていると圧迫感を感じる）。
仕切り等を上手く活用し、各フロア(特に5階)の見える化した方が良い。
※見通しが良く、状況（様子）が分かりやすい区切りスペース
カフェ（調理室）の活用で、佐倉の給食PRに係る意見が随所で出た。

【階ごとの特色について】

メイン：幅広い世代

（1階）・市民サービスセンター⇒コンビニなどの商業施設

- ・エントランスホール空間⇒アトリエ的な絵や展示物、市民ギャラリー
- ・垂れ幕（佐倉のPR）
⇒入りやすく、居心地の良い空間を想定。

メイン：幅広い世代

（2階）・ホール⇒ダンス、ボッチャ、スポーツ、トランポリン、ダーツ、親子向けのヒーローショーや演劇鑑賞会（2階ならベビーカー等も入りやすい）

- ・音楽練習室⇒楽器練習、発声練習場、カラオケルーム
- ・地域防災集会所⇒アニメ、映画鑑賞スペース
- ・京成佐倉駅からの動線⇒駅ホームにミレセン看板、駅からの動線は直線が良い、佐倉のゆるキャラの看板

⇒駅からのアクセスが良い2階の活用（駅⇒ホールで映画鑑賞、スポーツ⇒カフェで休憩）

⇒大災害等に備えるため、防災啓発体験ルームは残しておいても良いのではないかな？

メイン小学生向け

（3階）・吹き抜け⇒吊り下げ壁にして液晶パネル（市の広告や防災情報、高校生の動計画変更の可否の・消費生活センター、活動コーナー⇒自由にお絵描きできるホワイトボード、人マッチング掲示板、同じ趣味の人が集まるサークル活動、若者主体のイベント、市のイベントとコラボ、水風船（水鉄砲）、お化け屋敷、こどもと一緒に遊ぶ

- ・第1第2会議室⇒体験場（草履、竹）、講義（佐倉市が行っていること）
⇒主にヤンプラ機能+人との交流の場、趣味の場、マッチングの場
⇒液晶パネルで壁の有効活用（佐倉の魅力をPR、若者の動画放送等）

メイン中高生～一般向け

- （4階）・屋外デッキ⇒映画鑑賞、BBQ、ビアガーデン、芝生ドッグラン、野菜育てる、食フェス、夜にプロジェクターを使用して映画鑑賞
- ・調理室⇒佐倉の給食、料理教室、お菓子作り
- ・ラウンジ⇒カフェスペース（安価）、カフェで佐倉の給食再現
- ・第3第4会議室⇒高校生などがこどもに勉強を教えてくれる、寺子屋的な学習
【参考：四街道市の寺子屋イベント】
- ・和室⇒利用者が休憩できる場所
⇒屋外デッキの活用（イベント⇔調理室（料理）の連動・カフェ（佐倉の給食）
⇒5階との関連（4階で飲食や物を購入⇔5階でくつろぐ）

メイン：中高生向け～一般向け

- （5階）・市民風呂⇒（壁を取り払い想定）大中小人数に対応可能な自由な空間、飲食しながら雑談、マンガ（雑誌）を読める、勉強できる空間（個人で集中する空間・多人数で雑談しながら勉強する空間）、景色を見ながらくつろげる場所、昼寝（ソファ）、給水機、WiFi、充電スペース、ライトが暖色系
- ・屋外デッキ⇒喫煙所
⇒市民風呂スペースの壁を無くし、自由な空間とすること。仕切り等で見える化して、人数に応じた自由な使い方ができること。
⇒フロア内で勉強、くつろぎ、飲食、雑談等、目的に応じた自由な理由できる空間をつくりたい。（個人、くつろぎ、ワーキングスペース）
【参考：成田空港のワーキングスペース（イトーキが設置）】
⇒下の4階にカフェ、5階に給水機があれば活用時の利便性が向上する。